

【省エネ診断の比較】

名称	省エネ最適化診断	ウォークスルー診断		IT 診断
プラン	約 1 日の診断で、工場・ビル等全体のエネルギーの最適化診断	設備単位プラン	工場・事業所全体プラン	計測機器を用いて事業所の設備・プロセス毎等のエネルギー使用状況の見える化、分析等を行い、きめ細やかな改善提案を行うプラン
内容／診断費用（税込）	診断メニュー年間エネルギー使用量目安（原油換算）料金 ・小規模診断 （専門家1人診断、説明会なし） 0～100KI未満 7,920円 ・A診断 （専門家1人診断＋診断結果説明会） 0～300KI未満 10,670円 ・B診断 （専門家2人診断＋診断結果説明会 1 人） 300～1,500KI未満 16,940円 ・大規模診断 （事前打合せ＋専門家2人診断＋説明診断結果説明会） 1,500KI以上 25,850円 ※受診後、ステップアップ診断活用可能（専門家 1 名） 16,940円（補助対象外）	1 設備 1 設備のみ診断をします。 5,720円 2 設備 2 設備組み合わせて診断をします。 11,440円 【診断対象設備】 空調設備、照明設備、ボイラ・給湯器、コンプレッサ、受変電設備、デマンド、冷凍冷蔵設備、生産設備、給排水・排水処理、工業炉	300KI診断 15,290円 1,500KI診断 21,010円 3,000KI診断 26,840円 カスタム診断 26,840円超～48,840円 ※工場・事業所の規模により料金が変わります。 ※診断受診後、伴走支援を活用可能。 48,840円（補助対象外）	工場・ビル等のエネルギー量が多いポイントに対して、各種センサー（電力・圧力・流量・温度等）を計測する。 また収集データを分析・見える化し、省エネ課題やプロセス改善について提案する。 上限220,000円※ ※実施内容により料金が変わります。 ※診断受診後、伴走支援を活用可能。 48,840円（補助対象外）
診断機関	（一財）省エネルギーセンター（エネルギー管理士等の資格や同等の力量、診断経験を有し、同センターに登録された「エネルギー使用合理化専門員」）	登録診断機関（中小企業を支援する団体や電力会社、エネマネ事業者等の民間企業）		
活用事例	（一財）省エネルギーセンター(省エネ診断事例) https://www.shindan-net.jp/case/	（一財）環境共創イニシアチブ事務局（SII）(省エネ補助金活用事例) https://sii.or.jp		
申込／問合せ先	（一財）省エネルギーセンター「省エネ・節電ポータルサイト」にて、申請書を掲載しています。以下ページより直接、ご相談・お申込みください。 https://www.shindan-net.jp/	（一財）環境共創イニシアチブ事務局（SII）ページにて、登録診断機関のリストを掲載しています。以下のページより、ご希望の診断機関を選択の上、直接ご相談・お申し込みください。 https://shoeneshindan.jp/guide/search/		